



くりはら

市議会だより

第1回みんなのコンサート

第68号

令和3年4月16日



令和3年度
当初予算 **総額792億円を可決** 2ページ

**補正
予算** **新型コロナ対応支援策** 5ページ

一般質問 代表質問5人・個人質問13人登壇 6ページ

指定廃棄物
最終処分 **特別委員会の最終報告** 15ページ

「私もひとこと」
高橋 義典さん(鶯沢)・渡邊 淳子さん(金成) 16ページ

「みんなでつなぐコンサート」
栗原文化会館

令和3年度 予算総額

792億7,500万円決まる

2月定例議会では、「第2次栗原市総合計画」に掲げた施策を着実に推進すると共に、限られた財源を計画的かつ戦略的に活用できるよう編成された、令和3年度各種会計予算を原案どおり可決しました。



まちづくり予算を議論

当初予算

市民が創る くらしたい栗原

令和3年度の当初予算は市長および市議会議員の改選を控え、骨格予算となっています。

市の将来像である「市民が創る くらしたい栗原」実現の礎を築くため、引き続き子育て支援や移住定住施策の充実を図ると共に、市民が主体的になって取り組むまちづくりを推進するための、5つの将来像を見据えた予算編成となっています。5つの将来像は、以下のとおりです。（予算額は、**主な事業の額を掲載**）

- 1 恵まれた自然に包まれた質の高い暮らしのまち
14億8074万円
- 2 子どもたちの豊かな感性と生きる力を育むまち
39億1578万円
- 3 健康や生活に不安がなく、優しさと思いやりに満ちたまち
5億6777万円
- 4 地域の特性を生かした産業や交流が盛んなまち
21億2463万円
- 5 市民がまちづくりを樂しめるまち
2億9318万円

令和3年度 各種会計予算のあらまし

会計区分	令和3年度予算額	令和2年度予算額	比較増減	増減率(%)
一般会計	401億7800万円	427億4500万円	△25億6700万円	△6.0
特別会計	192億2600万円	194億4000万円	△2億1400万円	△1.1
国民健康保険特別会計（事業勘定）	77億6300万円	78億8700万円	△1億2400万円	△1.6
介護保険特別会計	102億5700万円	103億5400万円	△9700万円	△0.9
後期高齢者医療特別会計	8億9200万円	8億8700万円	500万円	0.6
診療所特別会計	3億1400万円	3億1200万円	200万円	0.6
水道事業会計	40億5900万円	39億4200万円	1億1700万円	3.0
下水道事業会計	54億3900万円	53億3500万円	1億400万円	1.9
病院事業会計	103億7300万円	103億3400万円	3900万円	0.4
合計	792億7500万円	817億9600万円	△25億2100万円	△3.1

※ 水道・下水道・病院事業会計は、収益的支出および資本的支出の額を掲載

ピックアップ

一般会計 議会の予算を見る

議会は、24人の議会議員で構成され、議会事務局の職員は7人が配属されています。
令和2年度に比べ約472万円少ない、2億8127万円の予算額が計上されています。
議会関係の主な予算は次のとおりです。

議員の報酬や 期末手当など

1億5466万円

議員の月額報酬は、議長49万7000円、副議長43万円、議員40万1000円で、議員全員の年額では、1億1699万円です。

また、議員全員の期末手当の年額は3756万円となります。

政務活動費

720万円

会派または会派に所属しない議員が行う調査研究などの活動に要する経費として、申請に基づき、議員1人当たり、月額2万500

0円が交付されます。
なお、使用しなかった金額は、市へ返還します。

議会インターネット 中継システム委託料

180万円

市民の議会傍聴の機会を拡大するため、インターネットを利用し、リアルタイムでの中継や録画映像を配

信しています。
これにより、議会の審議経過などを視聴することができます。

年に4回発行の 市議会だより

599万円

議会が、市民から親しまれ、そして身近な存在となるよう、「市議会だより」を発行しています。

議員が構成する広報編集調査特別委員会が、編集や校正を行い、発行しています。



これまで発行した「市議会だより」

討論

介護保険特別会計予算

反対 佐藤 文男 議員

予算規模全体で0.9%マイナス予算となり、事業縮小になっている中で、第1号保険者の保険料が5.2%の伸びになっている。高齢者世帯は負担の限界である。一般会計からの法定外繰り入れは可能だ。繰入金が増額で、高齢者の負担軽減をすべきだ。

賛成 佐藤 庄喜 議員

将来の高齢者人口や要介護認定者数の動向も鑑み、低所得者の負担軽減にも配慮した介護保険料となっている。介護予防、健康への意識醸成、自立支援、重度化防止、認知症などの施策推進。高齢者が安心できる地域づくりを目指す予算でやむを得ないと判断する。

賛否一覧表

議員氏名	議決結果	採 決 結 果																								
		佐藤 庄喜	小野 久一	澤邊 幸浩	佐藤 千昭	佐藤 範男	鹿野 芳幸	高橋 勝男	高橋 義雄	五十嵐 勇	石川 正運	高橋 涉	三塚 東	沼倉 猛	高橋 将	佐藤 悟	三浦 善浩	菅原 勇喜	佐藤 文男	相馬 勝義	濁沼 一孝	佐藤 勇	佐々木嘉郎	阿部 貞光	佐藤 久義	
令和3年度介護保険特別会計予算	可決	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	反	反	反	賛	賛	賛	賛	賛	-

※「賛」⇒賛成した議員、「反」⇒反対した議員、「-」⇒議長のため表決に加わらない

条例

病床数改革

若柳・栗駒で先行実施

医療需要の現状病床数

市の人口減少に伴う患者数の減少や、病院事業の財政状況の変化など、市立3病院（栗原中央・若柳・栗駒）の経営健全化に向け、経費の削減と抑制を図るため、医療需要の現状に合わせた病床数を次のように変更しました。

若柳病院 一般病床90床を60床（2病棟を1病棟）。
栗駒病院 一般病床45床



病床数を現状に合わせる

栗原中央病院では、これまで療養病床を空床にして、新型コロナウイルス感染症の患者および疑い患者の受け入れ病床を確保しています。空床に対する国の補助を受けるため、これまで県および東北厚生局と協議を重ね、県から重点医療機関の指定を受け、一般病床に変更することにより、国から有利な補助が受けられることから、次のように変更しました。

栗原中央病院 国の補助見込む

を0床に、療養病床30床を45床（全て療養型）。改善額は、令和3年度から5年間の合計で、若柳病院4億1600万円、栗駒病院6250万円と見込んでいます。病床数の変更は、令和3年4月1日からです。

介護保険料

月額を6300円に

令和3年度から令和5年度までを計画期間とする第8期介護保険事業計画で、介護保険料を第1号被保険者（65歳以上）1人当たりの基準額を月額5960円から6300円に改正しました。改正は令和3年4月1日からです。

栗原中央病院の現在の一般病床250床を267床に、療養病床50床を17床にそれぞれ変更し、16床を廃止しました。

国の「新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金」は、栗原中央病院の受け入れ体制が整った令和2年5月7日にさかのぼって適用され、3億5000万円が交付される見込みとなっています。

反対 沼倉 猛 議員

この条例改正は第8期介護保険計画を策定するに当たり、保険料を引き上げるための改正である。介護保険は社会保障制度であるが、介護保険料の負担割合は国が25%しか負担していない。国の負担を増やし、これ以上の被保険者負担を抑えるべきだ。

老人憩いの家 利用なく廃止

自治会で指定管理している一迫清水目老人憩いの家（清水目会館）および一迫畑老人憩いの家（畑会館）を老朽化のため解体し、新たに自治会で集会所施設を建設、所有するため条例から削除し、施設の利用がない鷲沢森下老人憩いの家（長寿荘）を廃止し、条例から削除します。

反対 三塚 東 議員

これまで住み続け、住み慣れた地域で自分らしく、健康で健やかに安心して生活を送ることができるようまず行政が優先すべきは性

急な施設の廃止ではなく、自治会の担う役割や必要性などの理解を促進し、地域活動を牽引するリーダーの養成をすべきである。

賛否一覧表

議員氏名	議決結果	採 決 結 果																									
		佐藤 庄喜	小野 久一	澤邊 幸浩	佐藤 千昭	佐藤 範男	鹿野 芳幸	高橋 勝男	高橋 義雄	五十嵐 勇	石川 正運	高橋 涉	三塚 東	沼倉 猛	高橋 将	佐藤 悟	三浦 善浩	菅原 勇喜	佐藤 文男	相馬 勝義	濁沼 一孝	佐藤 勇	佐々木嘉郎	阿部 貞光	佐藤 久義		
介護保険条例の一部改正条例	可決	賛	反	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	反	賛	賛	賛	反	反	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛
老人福祉施設条例の一部改正条例	可決	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛

※「賛」⇒賛成した議員、「反」⇒反対した議員、「-」⇒議長のため表決に加わらない

補正予算

新型コロナ対応の支援策

第2弾

10割増し商品券の発行など

2月定例議会では、12月定例議会に引き続き、新型コロナウイルス感染症に対応した市独自の支援策などを盛り込んだ補正予算を、議会は原案のとおり可決しました。新型コロナウイルス感染症支援策の主なものを掲載します。（掲載の事業は令和3年度予算の事業）

第2弾 主な支援事業

地元商店等応援補助事業

8325万円

市内4商工会が独自に発行・販売する割増商品券の発行に係る経費の一部を補助します。

額面60000円の10割増商品券を30000円で販売する予定としています。

Go湯くりはら温泉7割引キャンペーン

1億800万円

市民または市内事業所に勤務する人を代表者とし、市内温泉施設を利用する際に、宿泊プラン料金が7割引になります。

ビジネスホテル等3000円得キャンペーン

3000万円

市内のビジネスホテルや



地域経済の活性化を支援

旅館などに宿泊した人に対して、1人当たり1000円の割引と、20000円のクーポンを配布します。

支援事業の詳細については、市発行の「支援制度のお知らせ」第7報」を参照してください。

新型コロナ

対応事業に23億円活用

市の新型コロナ感染拡大防止や地域経済、住民生活に対する支援は、2月定例議会まで71事業に及び、令和2年度までの予算総額は約22億8700万円です。

このうち、国の「地方創生臨時交付金」約14億2200万円を含む、国・県の支出金は、約21億4800万円活用されています。市の支出金は約1億3900万円となり、一般財源を活用しています。

なお、市民1人につき10万円を給付した「特別定額給付金」約66億6800万円の予算額は含まれていません。

新型コロナ ワクチン接種費を追加

令和3年度一般会計の補正予算が追加されました。主な事業は、新型コロナウイルスのワクチン接種に関する事業費などです。

ワクチン接種体制の確保事業	1億3845万円
ワクチン接種対策の事業費	2億7324万円
新型コロナ対策中小企業等追加応援支援金	2億4280万円
新型コロナ対策宿泊事業者等支援事業	1億3800万円

人事

人権擁護委員 4人を同意

議会は候補者の推薦について同意しました。任期は法務大臣の委嘱を受けた日から3年間です。

佐藤 和宏 (高清水) 再任	菅原 久子 (一迫) 再任	仁木 久恵 (瀬峰) 再任	高橋 月子 (若柳) 新任
----------------	---------------	---------------	---------------

変更契約

市道「大林線」地盤改良工事の、増額変更契約を議決しました。

変更前の契約額	3億360万円
変更後の契約額	3億6988万円
相手方	株式会社佐々貞土建 (栗原市)